

「震災」についてのご協力のお願い【第二報】

常総生協・震災対策本部（2011.3.17）

# 頑張っ て！ 東北のみなさん！

## 救援・安否確認から 食糧支援、復興支援へ



○被災状況の確認、生産者の安否をほぼ確認しました。

○生協から被災地（北茨城・宮城仙台）への物資・食糧支援・輸送を開始しました。



○茨城県内の被災産地（漁協）の復旧支援に入りました。

○被災産地・メーカーさんへの復興再建目的の募金を募ります。

### 【災害復興基金募金のお願い】（裏面）

【対象】今回はあまりにも広範囲の災害のため、被災した産地・生産者への「再建復興基金」として活用させていただきます。

【一口】500円 【目標】500万円 【対象】組合員、生産者

- お知らせ『福島原発事故による 地場産露地葉物野菜の供給一時中止について』
- （報告）福島原発 「放射性雲の動きと空間線量の推移」
- （報告と提案）「福島原発で何が起きたのか」 福島原発放射能汚染、茨城千葉の推移

### 【地元産地の復旧支援、協同】

地震による損壊で茨城県内牛乳プラント一週間停止。市場では牛乳不足が発生。

## 鈴木さんの牛乳300Lを地域に無償頒布

○茨城県内牛乳プラントがほぼ損壊して製造中止。酪農家への集乳も寸断し、牛乳製造が不能に陥り、市場の牛乳が不足しました。

酪農家の現場では搾っても牛乳製品にできず、やむなく牧場での廃乳処分がはじまりました。牛も地震におびえて一週間は乳質が低下（生乳中の体細胞数が増加）。

鈴木牧場の提案で、牛も落ち着いて乳質が回復するのを待って、牛乳プラントが復旧・稼働するまでの間の19日・20日、鈴木さんの搾った原乳を殺菌・20リットル容器に入れ、組合員が受け入れ先となって全7ヶ所で、鈴木さんの牛乳、計300リットルを地域の方々に無償頒布しました。

○日立の久慈浜丸小漁協の復旧作業支援を20日に予定していましたが、現地がまだズタズタで電柱の倒壊や電線切断等がありまだ危険とのことで、次週以降に延期しました。

### 『産地災害復興基金募金』申込書

2011年 月 日

東日本大震災で被害にあわれた生産者・メーカーの復興基金として

\_\_\_\_\_ 口 \_\_\_\_\_ 円（1口500円）

（現金を封筒に入れ、この用紙を添付して、供給時ご提出下さい）

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

「産地災害復興基金募金」預かり書

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_ 様

産地復興基金募金として \_\_\_\_\_ 口 \_\_\_\_\_ 円をお預かりしました。

2011年 月 日 預かり担当者名 \_\_\_\_\_

## 【まさかの大地震・・・備えと対応は】

# 生産者安否確認と供給業務の継続を優先

今回の東日本大震災ではみなさん大変だったと思います。東北に親戚等がいらっしゃる方は大変心配のことと思います。

幸い茨城・千葉は沿岸部を除いて被害が少なく本当に助かりました。

震災・津波で発生した「福島原発事故」の災害が深刻となっていますが、正しい情報にもとづく適確で冷静な身を守る行動が必要かと思われます。

生協では先週は、生産者の被災と同時に物流の混乱・寸断により欠品が多く発生しましたが、整理し立て直して組合員への供給の正常化に努めました。

他方、週前半までに被災した産地・生産者の状況把握・安否確認に集中し、被災地現地の復旧が開始されるに対応して、週後半から食糧物資支援に入りました。

現地のみなさんには困難と悲しみを乗り越えて、復興に向けて頑張ってもらいたいと思います。国の支援だけでは復興は困難だと思います。民間の協同とボランティアの力が必要です。

私たち生協・組合員も小さな力を集めて、支援へのご協力をよろしくお願いたします。

## 【生産者被災・物流寸断による欠品と立て直し】

○生協関係施設・設備の点検作業、落下散乱物等の片付け作業をみんなで力をあわせて早期に終わらせました。幸い、本部事務所の天壁落下と床のひび割れ、給湯室のガス台破損、休憩室の天井一部落下程度で、資料書籍棚等は地震に備えて転倒防止ストッパーを設置しておいたため、中の資料の飛び出し散乱程度で、転倒しないですみました。

○災害産地・生産者の安否確認、状況把握を最優先させました。

○店舗では停電の中で営業を続けるとともに、定休日を返上して地域の皆さんに食糧品の提供をおこないました。

○共同購入の商品供給につきましては配送中止にせず、通常通りにお届けすることを決め、事前に電話音声での連絡を行ったうえでの配送に入りました。トラック燃料は提携先スタンドが優先的に給油に来てくれました。助かりました。宮城支援用の燃料も特別に調達してくれました。

○生産者の被災、物流の寸断にともなう欠品・遅配が15%60品目ほど発生し、組合員の予定にたいへんご迷惑をおかけしましたが、産地と出荷・入庫の連絡をとりながらやりくりし、とにかく可能な限りの商品をお届けできました。

○北海道からの牛乳等、遠方からの商品の入荷遅れの発生には当日ないしは翌日の第二便を走らせてお届けを優先させました。(3/14のみ間に合わず)

○ちょうど配送の曜日変更を伴う大幅なコース再編成の週と震災が重なり、一部配送が遅れたコースがありましたが、組合員のみなさんの協力を頂き、大きな混乱がなくあたらしいコースに移行できました。ありがとうございました。

## 【被災地への支援】

# 県内被災地・避難所への物資輸送。さらに食料を積んで直接被災地宮城入りしました

生協は災害時に地域や被災地のために物資輸送を分担することを県と契約し、「災害支援物資指定輸送トラック」の許可を得ています。職員とこのトラックが頑張りました。



### ○県内被災地・避難所支援

【北茨城】日赤と連携して北茨城沿岸の被災地に緊急日用品輸送(17日/水戸→北茨城市役所)。県北沿岸部は道路もズタズタで被災地には入れませんでした。



【福島県人避難所支援】福島原発事故による福島県からの避難者約18,000名が茨城に避難してきました。避難されたみなさんへの支援物資を輸送しました(18日/埼玉→土浦総合運動公園体育館)

### ○宮城支援

【第一便】取り急ぎ、生協にある在庫商品(組合員財産約300万円)を災害支援に回らせて頂きました。戸頭店にあるすべての商品、ならびに共同購入の在庫商品を支援物資として積み込み、災害現地の仲間の生協「あいコープみやぎ」(仙台市)へ配送して連携して被災地支援をおこないました(17日発→18日朝仙台着。災害地現地確認のために専務を先頭に支援に入りました)。



戸頭店の会員のみなさんにはお店の商品が突然まるごと無くなる事態となりましたが、ご理解、声援を頂き本当に感謝します。

※共同購入でたくさんの注文を頂いたペットボトルの「水」は水の産地(岩手岩泉、とちぎ精進沢)は工場破損で出荷不能となり、急遽代替で「COOP谷川山系水」を手配しましたが、結局すべて宮城への支援物資に回らせて頂き、欠品とさせて頂きました。

【第二便】被災地で炊き出し・煮炊きができるようになるのに備えて生産者・メーカーさんに支援物資を呼びかけたところ、コメ、味噌、醤油、肉そしてたくさんの野菜、果物、食品をはじめとする大量の食料の提供を頂き、2トンロングのトラックに満杯に積んで「災害支援物資第二便」として20日朝宮城に入りました。

災害現地入りしたのち、仙台市災害対策本部とボランティアセンターと連携をとって被災地の老人ホーム(東北福祉会せんだんの館関連6施設)のお年寄りに食料を届けました。



社会福祉法人  
東北福祉会  
せんだんの館